

授 業 科 目 名	保育・教育相談の方法			教 員	森 八千代		
開 講 時 期	後期	配当年次	2	単位数	2	授業形態	演習
免許・資格との関係	保育士資格必修、幼稚園教諭免許必修						
授業内容を示すキーワード	幼児理解、保育の仕組み、記録、評価、子育ての現状、保育相談支援						
授 業 の 概 要	保育相談支援、幼児理解と評価の実際(実践事例を学ぶ) 保育者の姿勢について理解する カウンセリングマインドと保育の接点を学ぶ 子育ての現状を認識し、保育相談支援の方法を学ぶ ピアヘルパーの資格を取得するために、単位修得が必須の科目となる。						
授業のねらいと到達目標	【ねらい】 幼児を理解することの基本知識を身につける 保育者の関わりを研究し、幼児を主体的に考える能力を養う 保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する 【到達目標】 保育の基本である幼児の行動や内面を理解すること、また、保育相談支援の方法を習得することを目的とする。						
授業の方法等	○ グループワーク・討論・発表・ビデオ鑑賞などの利用 ○ 課題レポートの作成提出						
授 業 計 画	1 保育者の求められる専門性とは 2 環境をとおして行う教育 3 幼児を肯定的に見る目をもつ 4 カウンセリングマインドと保育の接点 5 保育のしくみと幼児理解 6 幼児理解と評価 7 記録をとることの意味 8 記録の実際 9 保育相談支援の意義＜家庭の変容と現状＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 10 保育相談支援の原則＜保護者の養育力の向上＞＜受容的関わり＞ 11 保育相談支援の進め方＜より効果的な保育事例をするために＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 12 保育相談支援の技術＜保育相談支援の技術と留意点＞＜乳幼児の発達する姿＞ 13 保育相談支援の実際＜技術と留意点＞＜幼稚園・保育所の事例＞ 14 保育相談支援の実際＜幼稚園・保育所の事例＞ 15 保育相談支援の実際＜幼稚園・保育所の事例＞ まとめ 定期試験〔筆記〕60分 学生の取り組み姿勢の全体評価と講義の要点 30分						
成績評価の基準と方法	■定期試験〔筆記〕70％ ■授業への取り組み・態度 10％ ■提出物 10％ ■その他〔小テスト〕10％						
教 科 書	幼児理解と評価(平成22年 改訂版) 文部科学省 205円 保育相談支援 小林育子著 萌文書林 1,728円						
参 考 書	授業中に適宜紹介します。						
予習・復習・課題など	授業時は、教科書・参考書・ノート(A4)を持参すること。 【復習】授業で学んだことを読み返し、配付資料などをノートに貼付するなどして知りすること。						
関 連 科 目	相談援助、カウンセリング論						
質 問 受 付 の 方 法	担当(森)に授業後に質問してください。						
履 修 上 の 注 意							